

配電盤・制御盤・油圧機器など オーダーメイドで各種機械製造

エムエス工業株式会社(八戸市)

今回は「エムエス工業株式会社」取材した。
河村俊一社長、☎0178-28-8141。〒039-2246青森県八戸市桔梗野工業団地2-8-15。
同社は船舶の電装・機装、陸船用ディーゼル機関の整備、オーダーメイドで配電盤などの設計製造からメンテナンスまで一貫して対応する技術者集団。卓越した開発力と独創力をもとにオーダーメイドで機械製造に取り組む。今年で設立45年目を迎えるエムエス工業を紹介する。



河村 俊一 社長



特許を取得した塩水氷製造装置

創業の経緯

昭和45年(1970年)10月14日、船舶のエンジンや油圧機器の販売を手がける株式会社八戸マリンサービス(八戸市、武内清光社長)が創立された。昭和55年(1980年)10月、八戸マリンサービスの子会社として、エムエス工業は現在の八戸市桔梗野工業団地2丁目に設立された。初代社長には武内清光氏が就任。

八戸マリンサービスは昭和47年(1972年)8月、工作機械、油圧機器試験設備を導入した生産拠点を八戸市江陽5丁目に建設。次いで昭和49年(1974年)9月、本社社屋と商品倉庫を八戸市館鼻新漁港の隣接地に建設した。同年11月、漁船用油圧漁労機械「パラウインチ」を全国で初めて発売した。この機械は大型いか釣り漁船に続々と装備され、同社の業務拡大に貢献した。

昭和55年(1980年)10月、親会社八戸マリンサービスの技術部門と製造部門を子会社として独立させ、「エムエス工業株式会社」及び現「本社・桔梗野第1工場」が八戸市桔梗野工業団地に開設された。同工場は敷地面積が4,000㎡あり、大型機械工場、板金加工・焼付塗装工場、配電盤工場の3棟からなる。3棟の延べ床面

積は1,560㎡である。

配電盤事業は専用工場の開設により順調に拡大し、従来の船舶向けに加え、新たに食品工場、水産加工工場、機械工場、テナントビル、病院施設向け受注を獲得していった。昭和59年(1984年)8月、同社初となる官公庁施設への製品納入を実現した。

平成2年(1990年)7月、エムエス工業の初代社長の武内清光氏が交通事故により急逝したため、後任の社長として、常務取締役の河村俊一氏(現社長)が就任して今日に至っている。

組織体制の改編

昭和61年(1986年)、日ソ漁業協定に基づき北洋での日本の漁獲割当量が大幅に削減され、多くの漁船が減船を余儀なくされた。昭和62年(1987年)1月、経営環境が厳しくなった親会社八戸マリンサービスから、発展著しい子会社エムエス工業へと事業を継承し、エムエス工業が船舶用と陸用の両市場をカバーすることになった。



桔梗野第1工場の装置組立工場



館鼻第2工場



江陽第3工場



水産会社向けコンベアー



焼付塗装



盤のテスト



盤の部品組み付け配線

平成4年(1992年)2月、エムエス工業は親会社八戸マリンサービスと合併した。八戸マリンサービスを存続会社とした上で、改めて、社名を「エムエス工業株式会社」に変更し、本社所在地も「旧エムエス工業所在地」に登記を移転した。

平成13年(2001年)4月、エムエス工業は陸船用ディーゼル機関の整備事業を展開する取引先の「株式会社三和船用機器」(八戸市)の経営支援に乗り出した。平成17年(2005年)2月、三和船用機器の株式を100%取得し、社名を「株式会社マリンサービス」に変更した。平成20年(2008年)8月、マリンサービスを吸収合併し、「館鼻第2工場」として操業を開始した。平成21年(2009年)12月、エムエス工業は品質マネジメントシステムの国際規格「ISO-9001」を取得した。



星型油圧モーターの修理・整備

れる陸船用ディーゼル機関や船用推進プロペラの整備を行う。

国内3工場について

エムエス工業は八戸市内に3つの生産拠点を置く。

昭和55年(1980年)に操業を開始した**本社・桔梗野第1工場**(加賀祐一工場長、☎0178-28-8141)はエムエス工業の主力工場で、陸船用の配電盤・制御盤のほか、コンベアー搬送装置やマリンシャーベットを作る塩水氷製造装置などの省力化機械の設計製造、船舶電装工事を担う。

平成20年(2008年)に操業を開始した**館鼻第2工場**(松田紀明工場長、☎0178-33-9311)は旧マリンサービス(旧三和船用機器)の主力工場で、陸船用油圧機器や트롤船のウインチ巻上星形油圧モーターなど油圧機械システムの製造・修繕を請け負う。

平成27年(2015年)1月に操業を開始した**江陽第3工場**(河村元紀工場長、☎0178-44-1070)は第2工場が取り扱っていた内燃機関部門のみを移して新設されたもので、自家発電設備や船舶の推進装置に搭載さ

エンジンのメンテに注力

今後、船舶用電装工事・舶用電機保守点検整備・船舶推進用ディーゼル機関分解点検・自家発電設備用ディーゼル機関調整・油圧機器点検など整備事業を推進していく。最新のレーザー加工機を用いた鉄板・アルミ板・角パイプ・アクリル板など各種資材の型抜加工の受注獲得に努めていく。

また、以下の製品の販売拡大に注力していく。

- ①配電盤・制御盤・油圧ポンプ・油圧甲板機械
- ②魚の鮮度を長時間保つ塩水シャーベット氷を生成する水産会社向け「塩水氷製造装置」
- ③大型クラゲを破碎し排出する水産会社向け駆除用ポンプ「大型クラゲ排出ポンプ」
- ④自動計量機・自動包装機などに連結して使用する水産会社向け搬送装置「バケットコンベアー」
- ⑤ワゴンを持ち上げて高所に原料を投入する水産会社向け搬送装置「ワゴンリフター」
- ⑥食品会社向け「油揚げ切断機」や「容器洗浄機」